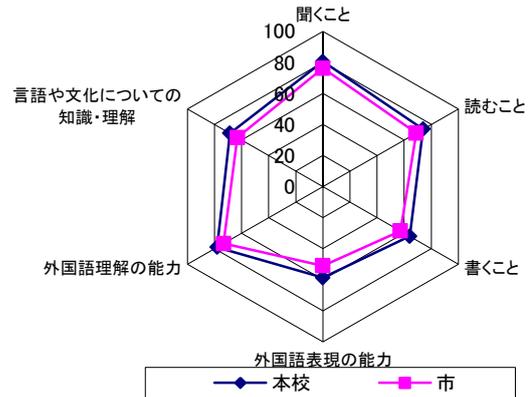


# 宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【英語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	聞くこと	80.5	76.2
	読むこと	74.0	68.9
	書くこと	64.1	57.2
観点別	外国語表現の能力	58.8	51.0
	外国語理解の能力	78.1	73.4
	言語や文化についての知識・理解	68.7	63.2



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は80.5%と、市の平均を4.3ポイント上回っている。</li> <li>絵が用いられている問題や英文の要点を聞き取る問題の正答率が高いが、対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答える問題になると、やや正答率が落ちる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、クラスルームイングリッシュを多く使い、普段の授業の中に英語を聞く機会を増やしていきたい。ピクチャーカードを使用し、オーラルイントロダクションやインタラクションのみならず、友人のスピーチを聞く活動や、フリートークの機会を増やしていきたい。</li> <li>また、質問に対して資料をもとに英文を作って答える練習も取り入れていきたい。</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は74.0%と、市の平均を5.1ポイント上回っている。</li> <li>英文の情報・条件をもとに、適切なものを選ぶ問題は、80～90%の正答率だが、英語で質問や要望に応じる問題は60～70%と正答率が落ちる。また、長文の内容に関する質問に英語で答える問題に関しては52%と正答率がほかの分野に比べて低い結果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話文や説明文など様々な種類の文に触れる機会を持たせたい。</li> <li>教科書のReadの単元などのまとまった英文を読む際に、分析的に指導するだけでなく、内容を大まかに把握したり、内容を推測するような発問をしていきたい。さらに、要約文を作るような活動も取り入れていきたい。また、英問英答形式の問題を必ず織り込んでいきたい。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は64.1%と、市の平均を6.9ポイント上回っている。</li> <li>語形・語法に関する問題と、テーマにそってまとまりのある英文を書く問題は、60～70%の正答率だったが、英語でたずねる文を書く問題は正答率が30～40%と低い結果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーラルインターアクションの中での応答や教師側が設定した質問を用いて、それに答える形の活動には慣れているが、自分が英語で質問を考えるという経験は実は少ない状況である。対話形式の活動でも、最初から質問の文を与えるのではなく、自分で質問の文を書くという活動を行い、それを用いて対話練習を行わせるようにしたい。</li> </ul>